

議会市民懇談会報告書

平成30年5月9日

山陽小野田市議会議長 小野 泰 様

総務文教常任委員会委員長 河 野 朋 子
産業建設常任委員会委員長 中 村 博 行

平成30年4月27日開催の議会市民懇談会の実施状況について、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 日 時 平成30年4月27日（金） 17時～19時
- 2 場 所 市役所 第2委員会室
- 3 申請団体 まちづくり会議 Mirai
- 4 参加人数 13 人
- 5 テーマ 山陽小野田市地方卸売市場について
 - ・市場運営に関わる問題と正常化に向けた取り組みについて
 - ・学校給食センターと市場との関わりについて
- 6 担当議員 総務文教常任委員会
河野朋子 伊場勇 高松秀樹 長谷川知司
産業建設常任委員会
中村博行 水津治 中岡英二 藤岡修美
- 7 懇談会次第
 - (1) 開会挨拶
 - (2) 中村産業建設常任委員長の挨拶とテーマについて発言

河野総務文教常任委員長の挨拶とテーマについて発言

- (3) 経過説明
- (4) 各議員の発言
- (5) 意見交換
- (6) 中村産業建設常任委員長の総括
- (7) 謝辞及び閉会挨拶

8 意見交換の主な内容

市民側からの意見（指摘）、要望

- ① 市から市場運営会社である小野田中央青果（株）に平成5年から28年まで約1億1,400万円以上の不明朗な補助金が支出されている。
- ② 補助金の支出を止めなかった市と議会にも責任がある。
- ③ 市場の責任者に品物や価格の目利きがなく、補助金ありきの体質が身についている。地消地産と捉え、需要に応じた供給が必要である。
- ④ J Aから売れないニンニクを仕入れたり、タマネギや寝太郎カボチャを大量に廃棄したりと問題意識を感じられない。
- ⑤ 市場運営会社である小野田中央青果（株）が100%出資しており、社長も同一人物である、（株）小野田青果販売が小売りをしている。このことが市場条例40条に違反している。
- ⑥ 条例では売掛金の精算は3日以内だが、守られておらず、これが累積していく懸念がある。
- ⑦ 小野田中央青果（株）と小野田青果販売（株）の貸借対照表に不自然なところがある。また、損益計算書との照合が必要である。経理の精査が必要。
- ⑧ 総会等の議事録の提出を求め、審査をしてほしい。
- ⑨ 市場は必要な施設であり、チェック体制を整え、透明化、正常化を求める。
- ⑩ 給食センターでは子どもたちに安心安全な食材を提供してほしい。また、他市のように献立等の情報をホームページに掲載してほしい。
- ⑪ センターになっても、組合員の既得権は残るのか、調整が困難になっている。教育委員会の考えを聞きたい。
- ⑫ 矛盾、でたらめ、不正があるものを議会は通してきた。誰に責任があるのかを考えて、しっかりしたチェックをしてほしい。

議員の発言

- ① 昨年6月議会での下瀬議員の一般質問以前、議会は行政の説明を聞いて、

それを鵜呑みにし、予算等を可決してきた。申し訳なく思っている。それ以降は委員会として、真摯に市場問題に取り組み、行政に対し条例違反等も指摘してきた。

その結果、前農林水産課長を市場長に配置し体制強化を図り、今後、市場の正常化に向けた努力をするとの答弁を得ている。

- ② 市場に対する信頼がないことから、生産者や買受人が減少したと思うので、信頼回復できるようチェック体制の確立を訴えていく。
- ③ 小野田青果販売が設置された真の理由等、調査すべきと感じている。
- ④ 給食の会計については、平成 32 年度より公会計になるため、入札が必要となる。

※ 市議会として、様々な指摘に対し、今後、所管事務調査等で事実関係などの調査をし、行政に対し改善是正すべき点は指摘し、市場の正常化に向けて尽力することが示された。